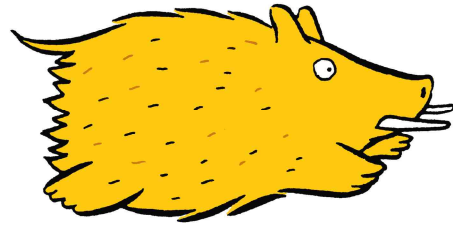


ご近所トマソン隊かなあ



鉄ちゃん風廃線編 by うさお



とは言うものの、武豊線は実はこんなに綺麗！
でも乗客が少ない、近鉄に取られちゃうんですね。

新幹線「のぞみ」に乗って名古屋に行きました。万博を見に行ったんじゃないです。武豊線と紀勢線の調査のために現場踏査に行きました。両方の線も電化されておらず、2から3両のディーゼルカーでした。しかも1時間に1本当たりの運行です。

武豊線は名古屋から車で、2時間程度の場所でJRよりも名鉄線のほうが整備されている処で、乗るお客さんの少ない線です。紀勢線も同様



緒川入り江跡。ここまで海でした。

です。今回の目的地「尾鷲」まで車で4時間も掛かりました。線路に沿った道路を走ります。でも、見る駅、駅にお客さんは殆どいないし、JRだから経営的に持ち堪えている線だなと思うよ。そうね、特急ですら時速70kmで鈍行に至ってはなんと時速20kmですよ。有りかな？今時、こんな鉄道！（あっ、一部に不適當な言葉がありましたことをお詫びいたします。）



横浜・子安の米陸軍のミルクプラント 「神奈川の軍事施設を歩く」より

紀勢線は度重なる台風、大雨の影響で橋脚を流されたり、レールだけが残ったりしても、それでも細々と生きています。今にも廃線になりそうですけど、道路以外の交通手段がありませんからね。で、今回は語り残した廃線跡を重点にトマソン隊を進めます。廃線正編は「トマソン隊4廃線編」の号¹をご参照ください。

我が家の近くに米軍のベースキャンプがありました。東神奈川のミルクプラント、瑞穂埠頭の軍用補給廠、専用線などがそれに当たります。



跡地に建てられた白百合乳児保育園2005



あまり近くだったため、近頃取り壊されると言う噂を聞いたにも拘らず、ミルクプラントの写真を撮りに行きませんでした。終戦直後、ここ県立金属工業指導所が接收され、5棟の建物が建てられ、アイスクリームなどの乳製品が作られていました。1997年には返還されミルクプラントはノースドック(瑞穂埠頭)に移転が決まりました。昨年、見事に取り壊され幼稚園になってしまいました。

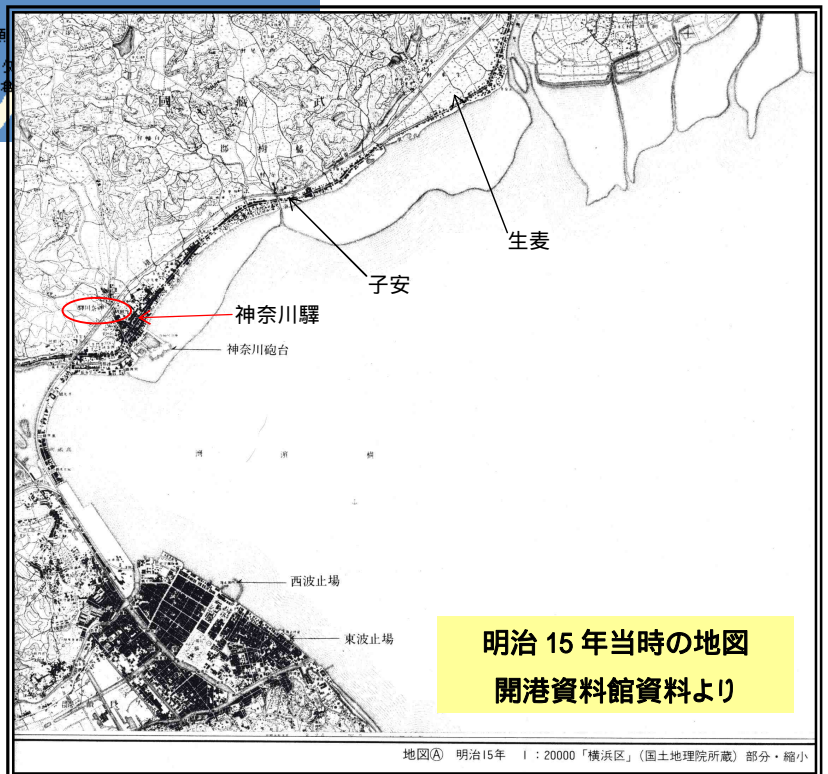
仕方がないので瑞穂埠頭の近辺を以前より詳しくご紹介します。上の地図をご参照ください。今は米軍に接收されていますが、以前は日本軍の弾薬補給基地だったそうです。出入口は細い埠頭入口の専用線だけ。

相模原の弾薬補給廠から横濱鐵道(現横浜線)で東神奈川駅、海神奈川駅を經由し、瑞穂埠頭に導かれ船積みされたのでしょ。

この地は江戸から明治に掛けて

明治15年当時の地図 開港資料館資料より

地図④ 明治15年 1:20000「横浜区」(国土地理院所蔵)部分・縮小



明治15年当時の地図 開港資料館資料より



瑞穂埠頭の米軍専用鉄道線

は砲台があり、今では中央卸売市場の近くに台場跡が残っているようですが、まだ見つけていません。

江戸時代から戦略的に重要な拠点だったんでしょうね。その時代の地形図が残っており、東海道(今の国道1号線)で台場の位置を見てみると判りますが、昔は砂州が海に延びているような地形だったのをうまく利用して砲台場を造ってあるようです。

日本陸軍も用いたであろう貨物引込み線が橋の隣にある線路で、今も使わ



三井倉庫群



東高島町駅方面の貨物線路

れているのか、手入れも良く現在の貨物線まで延びています。

Keep out なので、中のほうはどうなっているのか窺い知ることも出来ません。この辺りは古くから倉庫街だったようで趣のある倉庫が残っています。三井倉庫とか甘粕倉庫とか・・・。

臨海貨物線旧横浜鉄道の「海神奈川」駅もこの近くにあった様で、瑞穂駅のひとつ手前です。この駅は貨物線専用駅だったため、詳細な記述

はありませんが、高島町方面の貨物線との交差する辺りにあったようです。決定的な場所もうさおはまだ知りません。

この貨物線の鉄道の雰囲気は鶴見線に通じるものであり(実際、鶴見線とも通じています)、遠い日の記憶に何か触れます。こういう記憶の中に父が居るのはどういう訳でしょう。父に連れられている自分が見えます。そして、傍には日出彦さんもいたような……。凄く、昭和です。



瑞穂埠頭 米軍専用線



寒川支線跡

廃線号で紹介した寒川支線ですが、これも相模線や横浜線の貨物線に繋がっており、多分全盛の当時でも余り民間には開放されなかったところでしょう。

でもこうして、当時の鉄路が残っており、市民に開放され遊歩道になっているのは、結構、趣ってもんがあるじゃありませんか。

それにもして思うのですが、鉄路と軍事施設と言うのはなぜこんなに、関連性が深いのでしょうか。

そして良く残っています。撤去するにはお金が掛かることもあるのですが、残して欲しいと言う地元の方の思い入れのほうが強いのでしょうか。



寒川支線 寒川駅



淵野辺の造兵廠専用線跡



廃線跡



米軍基地内に突っ込む形の専用線跡

淵野辺にも横浜線に繋がる弾薬庫線の跡が残っています。うさおが小学生時代には通っている小学校の校庭の脇を横浜線が通っており、嘗ての軍事施設はそのまま進駐軍の管理下におかれ、時、おりしも朝鮮戦争の真っ只中。単線の横浜線に戦車を載せた貨車や軍事物質(弾薬か?)、燃料タンクの貨車が通っていました。

ここ淵野辺では、多分軍用線の部分返還に際し、自宅の庭のなかに軌道の一部が存在する風景が生まれたのでしょうか。これをうざいと思うか、ノスタルジイと感じるか。

旧陸軍造兵廠に続く専用線はこんな所にも残っています。手前側はつい最近建ったマンションで、反対側の金網の中は米軍の基地で



す。この上矢部団地の脇にこの廃線は続きご近所の方の一坪菜園になっています。

指差す処にそのまま鉄路は残っておりとても良い散歩道ですが、「ライ隊員お断り」の看板があちこちに。

気にしないで歩いていましたらご近所の奥様方の厳しいチェックの目が・・・。

そして公園の中には、相模陸軍造兵廠跡の石碑が。また、



横浜線の東神奈川方(鉄道マンの符丁で終点、または起点

方面を言うときに「方」と言います。)に緑の草に覆われた広いエリアがあり、草の合い間から僅かに鉄路が望めます。冬になるとこの鉄路は明らかになるのですが、まさしく夏草や兵どもの・・・を地で行く廃線跡です。



昭和 10 年頃の航空写真



さて、この写真は昭和 10 年の赤羽駅周辺であり上下に通っている電車は東北本線です。左手の丘は昔の工兵第一大隊、近衛工兵隊の練兵場で今の星美学園がここになります。ここに上る坂を師団坂といい、今でも地名が残っています。

着目していただきたいのは、その麓を巡る道路です。地図の赤い線のところですが、旧陸軍兵器補給廠専用線がこれに当たります。明治 39 年に練兵場、被服廠、火薬庫、造兵廠を結びました。

(<http://www.kitanet.ne.jp/~kiya/hometown/tikeizu.htm>)

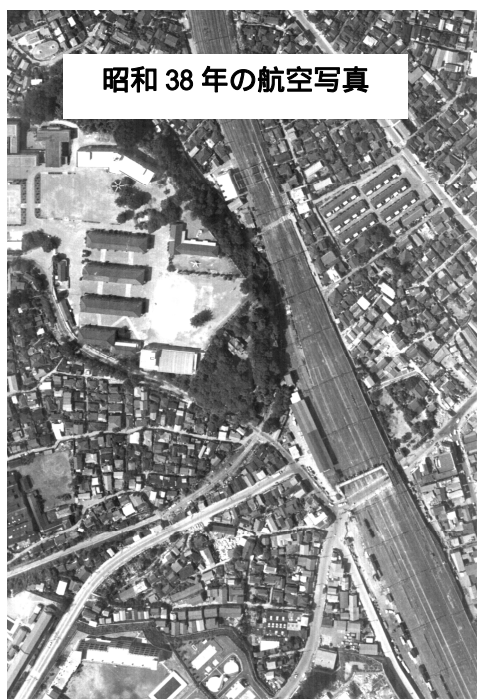
現在では赤羽八幡神社の参道を始点として、旧陸軍兵器補給廠跡の「西が丘競技場」まで遊歩道などで続いています。

江戸から明治の時代は、官軍の火薬倉庫がこの辺り(帝京病院付近)に造られ、明治には陸軍の赤羽火薬庫になりました。

赤羽は軍需の町として栄え、人口も増えましたが軍属も多



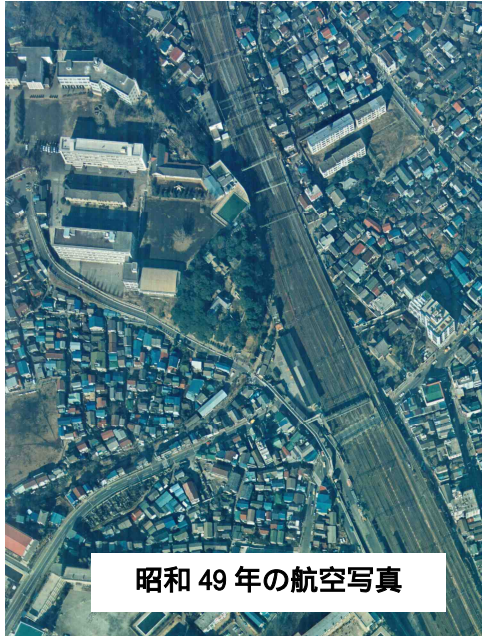
昭和 22 年の航空写真



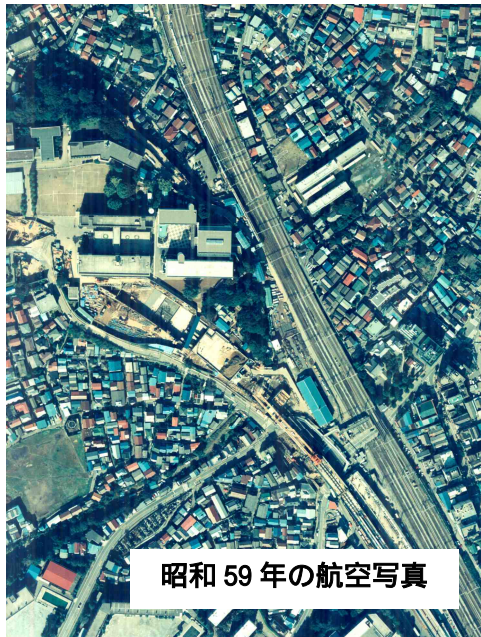
昭和 38 年の航空写真

かったようで、今風な団地のような町が地図では残っています。陸軍兵器補給廠の周囲で、稲付射場も含まれていましたので、住民は不穏な毎日だったかも。

とり合えず昭和の初めからの航空写真を眺めてみましょう。



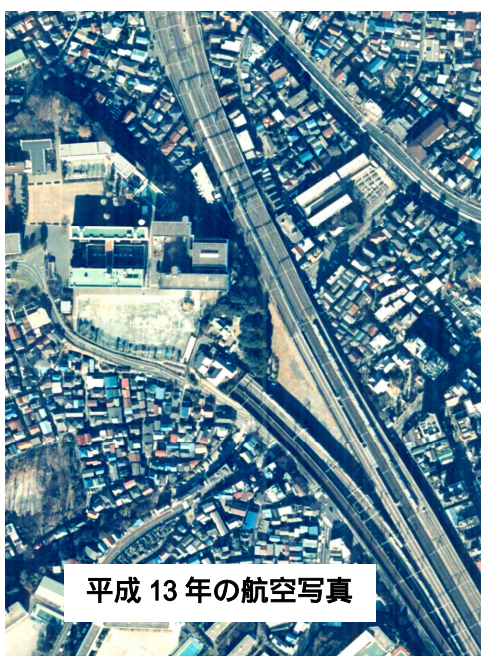
昭和49年の航空写真



昭和59年の航空写真



平成4年の航空写真



平成13年の航空写真

年度を追うごとに画像の精度は上がっていくのが判ります。昭和38年までは、ここにまだ鉄路があることが見て取れますが、昭和49年になると緑の通路になって廃止されたのでは思わせません。

昭和59年の変化はお分かりになりますでしょうか？東京方面から伸びて、星美学園の下を掘って進んでいるのは、東北新幹線の工事です。これで見ますと殆ど開削工事で行われているのと、アンダーピニングと言って、建物の杭を切って受け替える工法で成されているようです。



東北本線、貨物線の線数も大分減っています。平成に入ると殆ど現在の形で変化はありません。

では、本物の旧陸軍兵器補給廠専用線跡を見ましましょう。

ここは赤羽八幡神社の参道でここが起点になります。昔、この大鳥居の処に蒸気機関車の給水場があったと聞きます。

今は東北新幹線の高架



橋が空間を断ち切り視界を遮っています。
お宮を出た線路は師団坂を横断をする形で伸びていきます。
赤羽八幡宮、星美学園は小山の上にあります。



現在は空地になっていますが、もう直ぐ開発が進む予定の処で、弧を描くような敷地です。



大分、東北新幹線が見えなくなってきました。犬のお散歩に最適な地域です。皆さんもそう考えるらしく、「ライ隊員」お散歩禁止の看板が。



この区間を過ぎると遊歩道の北区赤羽緑道公園になります。



ここには鉄路は残して無く軌道を模したペーブメントが……。味気ないなあ。



東京都の公園らしく、野鳥、野草の観察メモのようなものがあったよ。

これが 40~50 箇所くらいあるので、健ちゃんのようなコレクターには堪らないでしょう。



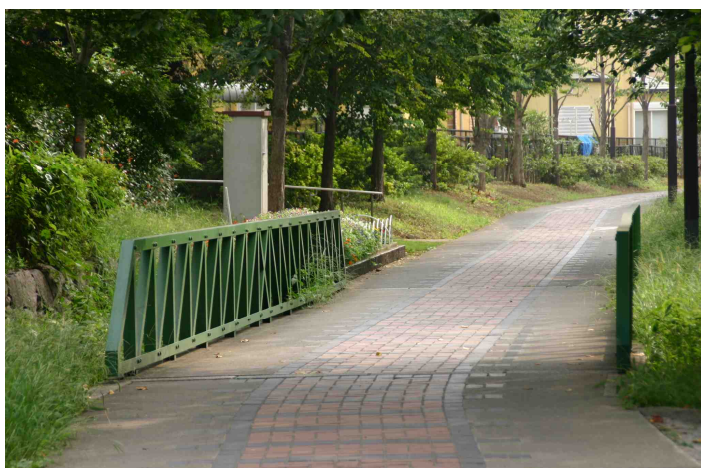
道路を渡るところには、鉄道橋のような歩道橋が。でもイミテーションなのが少しかかり。遠くから見つけたときには大喜びだったんだけどね。



そこには機関車の動輪を模したデザインの手摺が付いています。余りにも綺麗に出来過ぎだなあ。



嘗ての駅舎のあった場所なのでしょう。



これが鉄橋、って、いくらなんでもこれじゃあ情緒が無いよ。



遊歩道の終点はこんなところ。左の建物は福祉の施設だった。



遊歩道の終点から道路一本を隔てた処に緑地があり赤羽自然観察公園だった。



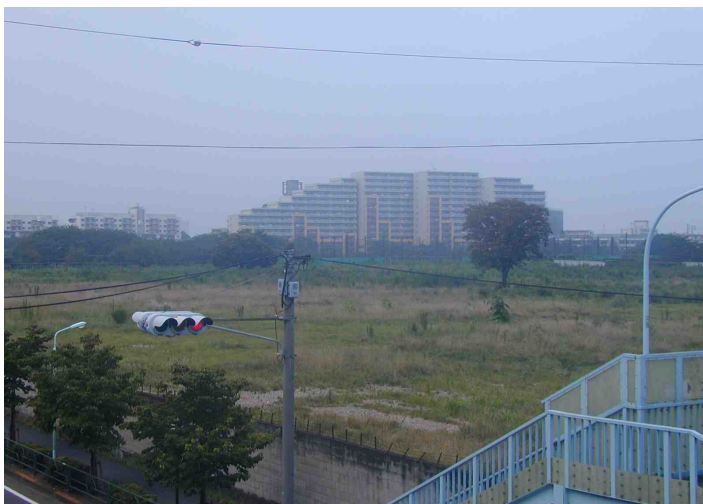
旧陸軍兵器補給廠の跡が西が丘競技場で、これが終点です。
ご乗車有難うございました。



赤羽八幡神社も神殿はこんなに立派で、奥のほうに赤いお狐様が一杯飾ってありました。



赤羽八幡神社の岡上から見下ろすと、ちょうど東北新幹線の E2 系の列車が走ってきました。



西が丘競技場の近くにある自衛隊の駐屯隊用地。いきなりこんな広いものが団地の中に出てくるよ。演習もやるのかな。結構、赤羽はハードな街です。

次回はこれの続きの相模鉄道米軍基地線と廃駅の詳細です。

1: 大船ドリームランドモノレール、横濱臨海貨物線、寒川支線、東京横浜電鉄、京濱急行湘南電気鐵道を記載